

病理学 1 (病理学 1)

2 年次 後学期	授業科目責任者：山本 浩嗣 (口腔病理学)
学習の目標 (G I O)	疾病は生体の機能や構造，あるいはその両者が正常範囲から逸脱した現象であり，その原因を「病因」，表出した状態を「病態」と称する。種々の疾病を総合的に理解するためには病因と病態ならびにそれらを結びつけている過程・経過における変化や現象 (病変) を考究しなければならず，この理解なくしては医療・歯科医療が成立しない。さらに，疾病を理解する思考は基礎医歯学から臨床医歯学への橋渡しとなる。したがって，本カリキュラムの一般目標は疾病の本態を理解するために，その成り立ちや理論を習得し，ひいては問題発見及び問題解決能力を身につける。
授業担当者	口腔病理学講座：山本浩嗣，宇都宮忠彦，木場秀夫，岡田裕之，久山佳代，齋藤美雪，*高田隆，*朔 敬，*豊澤悟，*高戸毅，*大石善也，*太田泰人，*大村光浩，*齋藤隆明，*茂田里恵，*白川誠二，*新崎博文，*黒子光雄，*小泉歩，*小泉康之，*佐藤幸雄，*神向寺登美夫，*鈴木彰，*鈴木仙一，*鈴木慶洋，*田中強，*田中秀邦，*永井隆雄，*長岡博司，*中澤啓介，*中村文彦，*西山孝宏，*早川雅秀，*林正人，*本多豊彦，*松浦裕敬，*松村由香，*三宅正純，*吉原徹，*若山昭一，*脇田雅文，*中島十四夫，*猪又俊之，*山本雅博
教科書	病理・口腔病理組織学実習提要 (日本大学松戸歯学部口腔病理学教室編) スタンダード病理学 (学建書院) スタンダード病態病理学 (学建書院)
参考図書	歯学生のための一般病理アトラス (永末書店) 口腔病理アトラス (文光堂)
実習器材	特になし。
評価方法 (E V)	原則として，中間試験の成績を加味し，定期試験の成績を主体として総合的に判定する。また，受講態度 (出欠状況など) やレポート，授業ノート，実習ノート等についても評価の対象となりうる。
学生へのメッセージ オフィスアワー	病理学は正常の人体の構造と機能の知識を基盤としているので，それらの復習とともに予習を必ず行ってください！！

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 (S B O s) (L S) ・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9 月 28 日 (水) 1 時間 9:00 ~ 9:50	病因論	学習内容：疾病の成り立ちと病態との関連性について基礎的知識を習得する。 【準備学習項目】 ・疾患の内因と外因を列挙できる。 ・6 大病変を列挙できる。 【講義】 行動目標 (S B O s) : ・疾病の原因と成り立ちとの関連性について説明できる。 ・外因を列挙できる。 ・外因の関与する代表的疾患の病態について述べるができる。 学習方略 (L S) : 102 講堂，マルチメディアの併用，第 2 実習室 コアカリキュラム：D-4 国家試験出題基準：必 -14-A，総 -(VI)-I	山本浩嗣
9 月 28 日 (水) 1 時間 10:00 ~ 10:50	病因論	学習内容：疾病の成り立ちと病態との関連性について基礎的知識を習得する。 【準備学習項目】 ・疾患の内因と外因を列挙できる。 ・6 大病変を列挙できる。 【講義】 行動目標 (S B O s) : ・内因を列挙できる。 ・内因の関与する代表的疾患の病態について述べるができる。 学習方略 (L S) : 102 講堂，マルチメディアの併用，第 2 実習室 コアカリキュラム：D-4 国家試験出題基準：必 -14-A，総 -(VI)-I	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9月28日(水) 1時間 11:00～11:50	病因論	<p>学習内容：疾病の成り立ちと病態との関連性について基礎的知識を習得する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疾患の内因と外因を列挙できる。 ・6大病変を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医原病を列挙できる。 ・代表的な医原病の病態について解説できる。 ・6大病変を列挙できる。 ・6大病変の特徴について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：D-4 国家試験出題基準：必-14-A，総-(VI)-I</p>	同上
10月5日(水) 1時間 9:00～9:50	細胞障害，組織障害及び萎縮(退行性病変)	<p>学習内容：細胞障害，組織障害及び萎縮(退行性病変)の病因・病態と生物学的意義を理解する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性病変における萎縮，変性及び壊死の定義について述べる事ができる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性病変の医学的意義について述べる事ができる。 ・萎縮の原因，種類，形態学的特徴及び代表的疾患の病態について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：D-4-l) 国家試験出題基準：必-14-A-j,k，総-(VI)-2</p>	岡田裕之
10月5日(水) 1時間 10:00～10:50	細胞障害，組織障害及び萎縮(退行性病変)	<p>学習内容：細胞障害，組織障害及び萎縮(退行性病変)の病因・病態と生物学的意義を理解する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性病変における萎縮，変性及び壊死の定義について述べる事ができる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変性の定義を述べる事ができる。 ・変性の原因，種類，形態学的特徴及び代表的疾患の病態について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：D-4-l) 国家試験出題基準：必-14-A-j,k，総-(VI)-2</p>	同上
10月5日(水) 1時間 11:00～11:50	細胞障害，組織障害及び萎縮(退行性病変)	<p>学習内容：細胞障害，組織障害及び萎縮(退行性病変)の病因・病態と生物学的意義を理解する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性病変における萎縮，変性及び壊死の定義について述べる事ができる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性病変の医学的意義について述べる事ができる。 ・壊死，壊疽，アポトーシスの成因，意義，多様性及び病態について解説できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：D-4-l) 国家試験出題基準：必-14-A-j,k，総-(VI)-2</p>	同上
10月12日(水) 1時間 9:00～9:50	循環障害	<p>学習内容：循環障害の病因・病態と医学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血液及びリンパ液の循環(経路)について説明できる。 ・循環血液量の異常の種類を列挙できる。 ・閉塞性の循環障害の種類を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環血液量の異常の種類を列挙することができる。 ・虚血，充血，うっ血，出血の成り立ち，種類，病態及び転帰について <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：D-4-3) 国家試験出題基準：必-4-A-h，総-(VI)-4</p>	木場秀夫

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月12日(水) 1時間 10:00～10:50	循環障害	<p>学習内容：循環障害の病因・病態と医学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 血液及びリンパ液の循環(経路)について説明できる。 循環血液量の異常の種類を列挙できる。 閉塞性の循環障害の種類を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> 循環血液量の異常の種類を列挙することができる。 虚血, 充血, うっ血, 出血の成り立ち, 種類, 病態及び転帰について説明できる。 播種性血管内凝固症候群(DIC)の成因と病態について解説できる。 側副循環の異常の成因, 種類及び関連する疾患について述べる事ができる。 <p>学習方略(LS): 102講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム: D-4-3) 国家試験出題基準: 必-4-A-h, 総-(VI)-4</p>	同上
10月12日(水) 1時間 11:00～11:50	循環障害	<p>学習内容：循環障害の病因・病態と医学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 血液及びリンパ液の循環(経路)について説明できる。 循環血液量の異常の種類を列挙できる。 閉塞性の循環障害の種類を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ショックの種類, 成り立ち及び病態を説明できる。 浮腫の成り立ち, 病態及び転機について解説できる。 滲出液と漏出液の特徴(相違点を含む)を説明できる。 腔水症の意義, 種類及び病態について述べる事ができる。 <p>学習方略(LS): 102講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム: D-4-3) 国家試験出題基準: 必-4-A-h, 総-(VI)-4</p>	同上
10月19日(水) 1時間 9:00～9:50	病因と病態との関連	<p>学習内容：疾病の成り立ちと病態との関連性について基礎的知識を習得する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 臓器・組織の正常構造について説明できる。 <p>【実習】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> 病変臓器の肉眼的観察により, その病変の病因・病態を考察し, 説明できる。 <p>学習方略(LS)： 第2実習室, 102講堂, マルチメディアの併用 コアカリキュラム: D-4 国家試験出題基準: 必-14-A, 総-(VI)-1</p>	<p>山本浩嗣 岡田裕之 久山佳代 大石善也 大村光浩 茂田里恵 新崎博文 小泉歩 佐藤幸雄 神向寺登美夫 鈴木仙一 田中強 永井隆雄 中澤啓介 西山孝宏 林正人 松浦裕敬 三宅正純 若山昭一 高戸毅 猪又俊之</p> <p>宇都宮忠彦 木場秀夫 齋藤美雪 太田泰人 齋藤隆明 白川誠二 黒子光雄 小泉康之</p> <p>鈴木彰 鈴木慶洋 田中秀邦 長岡博司 中村文彦 早川雅秀 本多豊彦 松村由香 吉原徹 脇田雅文 中島十四夫 山本雅博</p>
10月19日(水) 1時間 10:00～10:50	退行性病変の病理組織学	<p>学習内容：細胞傷害, 組織傷害及び萎縮(退行性病変)の病因・病態と生物学的意義を理解する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 退行性病変における萎縮, 変性及び壊死の定義と病理学的特徴について述べる事ができる。 <p>【実習】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> 退行性病変に分類される疾患や病変の標本を顕微鏡を用いて観察し, それらの病理組織学的特徴について説明できる。(スケッチや所見の完成) <p>学習方略(LS)： 第2実習室, 顕微鏡-テレビシステムの併用, 102講堂, マルチメディアの併用 コアカリキュラム: D-4 国家試験出題基準: 必-14-A-J,k, 総-(VI)-2</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月19日(水) 1時間 11:00～11:50	循環障害の病理組織学	<p>学習内容：循環障害の病因・病態と医学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環血液量の異常の種類を列挙し、病理学的特徴について説明できる。 ・閉塞性の循環障害の種類を列挙し、病理学的特徴について説明できる。 <p>【実習】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環障害による主な疾患の標本を顕微鏡を用いて観察し、それらの病理組織学的特徴について説明できる。(スケッチや所見の完成) <p>学習方略(LS)：</p> <p>第2実習室、顕微鏡・テレビシステムの併用、102講堂、マルチメディアの併用</p> <p>コアカリキュラム：D-4</p> <p>国家試験出題基準：必-14-A-J,k, 総-(VI)-2</p>	同上
10月26日(水) 1時間 9:00～9:50	修復と再生 (進行性病変)	<p>学習内容：進行性病変としての組織・細胞の修復と再生に関する病因・病態及び生物学的意義について習得する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞分裂周期について説明できる。 ・細胞分裂周期における形態学的特徴について解説できる。 ・幹細胞あるいは多分化能について説明できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増殖と肥大について説明できる。 ・修復と再生について解説できる。 ・細胞・組織の再生能力について述べることができる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂、マルチメディアの併用、第2実習室</p> <p>コアカリキュラム：D-4-l) , D-4-2)</p> <p>国家試験出題基準：必-14-A-c,j,l, 総-(VI)-3</p>	岡田裕之
10月26日(水) 1時間 10:00～10:50	修復と再生 (進行性病変)	<p>学習内容：進行性病変としての組織・細胞の修復と再生に関する病因・病態及び生物学的意義について習得する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進行性病変の定義と種類について説明できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創傷治癒に関与する細胞とその過程を解説できる。 ・化生を説明できる。 ・細胞・組織の再生能力について述べることができる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂、マルチメディアの併用、第2実習室</p> <p>コアカリキュラム：D-4-l) , D-4-2)</p> <p>国家試験出題基準：必-14-A-c,j,l, 総-(VI)-3</p>	同上
10月26日(水) 1時間 11:00～11:50	修復と再生 (進行性病変)	<p>学習内容：進行性病変としての組織・細胞の修復と再生に関する病因・病態及び生物学的意義について習得する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進行性病変の定義と種類について説明できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨折、抜歯創及び歯の破折の治癒に関与する細胞とその過程について説明できる。 ・移植の適用とその後の反応について解説できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂、マルチメディアの併用、第2実習室</p> <p>コアカリキュラム：D-4-l) , D-4-2), F-2-4)-(1)</p> <p>国家試験出題基準：必-14-A-c,j,l, 総-(VI)-3</p>	同上
11月2日(水) 1時間 9:00～9:50	炎症	<p>学習内容：炎症の病因・病態と医学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炎症のケミカルメディエーターについて説明できる。 ・白血球、リンパ球、形質細胞、マクロファージ、NK細胞等の炎症性細胞の機能について説明できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炎症の定義と発生機序について解説できる。 ・5つの臨床症状とその病理組織学的な裏付けについて説明できる。 ・炎症の分類、病理組織学的特徴及び経時的変化について述べることができる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂、マルチメディアの併用、第2実習室</p> <p>コアカリキュラム：D-4-4)</p> <p>国家試験出題基準：必-14-A-d,e, 総-(VI)-5</p>	久山佳代

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月2日(水) 1時間 10:00 ~ 10:50	炎症	<p>学習内容：炎症の病因・病態と医学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炎症のケミカルメディエーターについて説明できる。 ・白血球, リンパ球, 形質細胞, マクロファージ, NK細胞等の炎症性細胞の機能について説明できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変質性炎の病態と代表的疾患について説明できる。 ・滲出性炎の成因, 種類, 形態学的特徴及び代表的疾患について解説できる。 ・増殖性炎や特異性炎の成因, 種類, 形態学的特徴及び代表的疾患について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム：D-4-4) 国家試験出題基準：必-14-A-d,e, 総-(VI)-5</p>	同上
11月2日(水) 1時間 11:00 ~ 11:50	炎症	<p>学習内容：炎症の病因・病態と医学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炎症のケミカルメディエーターについて説明できる。 ・白血球, リンパ球, 形質細胞, マクロファージ, NK細胞等の炎症性細胞の機能について説明できる。 ・細胞性免疫や体液性免疫について解説できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・膠原病と自己免疫疾患を列挙することができる。 ・膠原病と自己免疫疾患の成因及び病態について解説できる。 ・アレルギー性炎の成因, 種類, 形態学的特徴及び代表的疾患について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム：D-4-4) 国家試験出題基準：必-14-A-d,e, 総-(VI)-6</p>	同上
11月9日(水) 1時間 9:00 ~ 9:50	進行性病変の病理組織学	<p>学習内容：進行性病変としての組織・細胞の修復・再生に関する病因・病態と生物学的意義について習得する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肉芽組織や線維化の病理組織学的特徴について説明できる。 <p>【実習】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進行性病変に分類される疾患の標本を顕微鏡を用いて観察し、それらの病理組織学的特徴を説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>第2実習室, 顕微鏡 - テレビシステムの併用, 102講堂, マルチメディアの併用 コアカリキュラム：D-4-4) 国家試験出題基準：必-14-A-c,j,l, 総-(VI)-3</p>	<p>山本浩嗣 岡田裕之 久山佳代 大石善也 大村光浩 茂田里恵 新崎博文 小泉歩 佐藤幸雄 神向寺登美夫 鈴木仙一 高戸毅 田中秀邦 長岡博司 中村文彦 早川雅秀 本多豊彦 松村由香 吉原徹 脇田雅文 猪又俊之</p> <p>宇都宮忠彦 木場秀夫 齋藤美雪 太田泰人 齋藤隆明 白川誠二 黒子光雄 小泉康之</p> <p>鈴木彰 鈴木慶洋 田中強 永井隆雄 中澤啓介 西山孝宏 林正人 松浦裕敬 三宅正純 若山昭一 中島十四夫 山本雅博</p>
11月9日(水) 1時間 10:00 ~ 10:50	炎症の病理組織学	<p>学習内容：炎症の病因・病態と医学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炎症性細胞の役割について説明できる。 <p>【実習】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な炎症性疾患の標本を顕微鏡を用いて観察し、それらの病理組織学的特徴について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>第2実習室, 顕微鏡 - テレビシステムの併用, 102講堂, マルチメディアの併用 コアカリキュラム：D-4-4) 国家試験出題基準：必-14-A-d,e, 総-(VI)-5</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月9日(水) 1時間 11:00 ~ 11:50	進行性病変と炎症の総括	内容：進行性病変と炎症の病理学的特徴について理解する。 【実習】 行動目標(SBOs)： ・進行性病変と炎症の代表的疾患に関する病理組織所見と病態のスケッチを実習ノートに記載し、完成する。 学習方略(LS)： 第2実習室，顕微鏡・テレビシステムの併用，102講堂，マルチメディアの併用 コアカリキュラム：D-4-4) 国家試験出題基準：必-14-A-c,d,e,j,l，総-(VI)-3,5	同上
11月16日(水) 1時間 9:00 ~ 9:50	中間試験(一般問題)	内容：知識や診断能力の確認及び評価 行動目標(SBOs)： ・病因論，退行性病変，循環障害，進行性病変及び炎症を整理・理解し，理論的に説明できる。 実施場所：102講堂，第2実習室	山本浩嗣
11月16日(水) 1時間 10:00 ~ 10:50	中間試験(顕微鏡や視覚素材を用いた試験)	内容：知識や診断能力の確認及び評価 行動目標(SBOs)： ・病因論，退行性病変，循環障害，進行性病変及び炎症の代表的疾患ないし病変について鑑別診断，確定診断を実施できる。 実施場所：第2実習室，102講堂	同上
11月16日(水) 1時間 11:00 ~ 11:50	中間の総括	内容：知識や診断能力の確認 行動目標(SBOs)： ・病因論，退行性病変，循環障害，進行性病変及び炎症の代表的疾患ないし病変について鑑別診断，確定診断について説明できる。 実施場所：第2実習室，102講堂	同上
11月30日(水) 1時間 9:00 ~ 9:50	腫瘍	学習内容：腫瘍の病因・病態と生物学的意義について学ぶ。 【準備学習項目】 ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べることができる。 ・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。 ・非歯源性腫瘍を列挙できる。 【講義】 行動目標(SBOs)： ・腫瘍の発生原因と組織発生(多段階説)を説明できる。 ・良・悪性腫瘍の肉眼的及び病理組織学的鑑別点について解説できる。 学習方略(LS)： 102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：D-4-5) 国家試験出題基準：必-14-A-g，総-(VI)-7	宇都宮忠彦
11月30日(水) 1時間 10:00 ~ 10:50	腫瘍	学習内容：腫瘍の病因・病態と生物学的意義について学ぶ。 【準備学習項目】 ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べることができる。 ・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。 ・非歯源性腫瘍を列挙できる。 【講義】 行動目標(SBOs)： ・腫瘍の分類について説明できる。 ・上皮性及び非上皮性腫瘍の病理組織学的特徴について述べるができる。 ・非歯源性腫瘍の病理組織学的特徴について解説できる。 ・異形成、退形成及び分化について説明できる。 ・腫瘍の異型性と多形性について解説できる。 学習方略(LS)： 102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：D-4-5) 国家試験出題基準：必-14-A-g，総-(VI)-7	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月30日(水) 1時間 11:00 ~ 11:50	腫瘍	<p>学習内容：腫瘍の病因・病態と生物学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べることができる。 ・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。 ・非歯源性腫瘍を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍の浸潤，発育及び転移様式について説明できる。 ・悪性腫瘍の進行度について解説できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：D-4-5) 国家試験出題基準：必-14-A-g，総-(VI)-7</p>	同上
12月7日(水) 1時間 9:00 ~ 9:50	嚢胞	<p>学習内容：嚢胞の成り立ちや生物学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嚢胞の定義について述べることができる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嚢胞の分類について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：F-2-4)-(3) 国家試験出題基準：必-14-B-h，総-(VI)-11-F</p>	山本浩嗣
12月7日(水) 1時間 10:00 ~ 10:50	嚢胞	<p>学習内容：顎骨に発生する嚢胞の病因・病態について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嚢胞の定義や種類について述べることができる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顎骨に発生する嚢胞の種類，成り立ち及び病理組織学的特徴について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：F-2-4)-(3) 国家試験出題基準：必-14-B-h，総-(VI)-11-F</p>	宇都宮忠彦
12月7日(水) 1時間 11:00 ~ 11:50	嚢胞	<p>学習内容：軟組織に発生する嚢胞の病因・病態について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嚢胞の定義や種類について述べることができる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軟組織に発生する嚢胞の種類，成り立ち及び病理組織学的特徴について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：F-2-4)-(3) 国家試験出題基準：必-14-B-h，総-(VI)-11-F</p>	朔敬
12月14日(水) 1時間 9:00 ~ 9:50	腫瘍の病理組織学	<p>学習内容：腫瘍の病因・病態と医学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べることができる。 ・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。 ・非歯源性腫瘍を分類できる。 <p>【実習】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍の代表的な疾患や病変の標本を顕微鏡を用いて観察し，それらの病理組織学的特徴について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>第2実習室，顕微鏡 - テレビシステムの併用，102講堂，マルチメディアの併用 コアカリキュラム：D-4-5) 国家試験出題基準：必-14-A-g，総-(VI)-7</p>	山本浩嗣 岡田裕之 久山佳代 大石善也 大村光浩 茂田里恵 新崎博文 小泉歩 佐藤幸雄 神向寺登美夫 鈴木仙一 田中強 永井隆雄 中澤啓介 西山孝宏 林正人 松浦裕敬 三宅正純 若山昭一 高戸毅 猪又俊之 宇都宮忠彦 木場秀夫 齋藤美雪 太田泰人 齋藤隆明 白川誠二 黒子光雄 小泉康之 鈴木彰 鈴木慶洋 田中秀邦 長岡博司 中村文彦 早川雅秀 本多豊彦 松村由香 吉原徹 脇田雅文 中島十四夫 山本雅博

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月14日(水) 1時間 10:00～10:50	腫瘍の病理組織学	<p>学習内容：炎症の病因・病態と医学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べることができる。 ・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。 ・非歯源性腫瘍を分類できる。 <p>【実習】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍の代表的な疾患や病変の標本を顕微鏡を用いて観察し、それらの病理組織学的特徴について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>第2実習室，顕微鏡 - テレビシステムの併用，102講堂，マルチメディアの併用 コアカリキュラム：D-4-5) 国家試験出題基準：必-14-A-g，総-(VI)-7</p>	同上
12月14日(水) 1時間 11:00～11:50	嚢胞の病理組織学	<p>学習内容：嚢胞の病因・病態と医学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嚢胞の定義や分類について述べるができる。 <p>【実習】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嚢胞の代表的な疾患や病変の標本を顕微鏡を用いて観察し、それらの病理組織学的特徴について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>第2実習室，顕微鏡 - テレビシステムの併用，102講堂，マルチメディアの併用 コアカリキュラム：F-2-4)-(3) 国家試験出題基準：必-14-B-h，総-(VI)-11-F</p>	同上
12月21日(水) 1時間 9:00～9:50	先天異常・奇形	<p>学習内容：先天異常・奇形と症候群の成り立ち、分類及び病態について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先天異常の種類や代表的疾患を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先天異常の成因について述べるができる。 ・遺伝性疾患について説明できる。 ・染色体異常について解説できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：F-2-4)-(3) 国家試験出題基準：必-14-A-b，総-(VI)-1-A</p>	久山佳代
12月21日(水) 1時間 10:00～10:50	先天異常・奇形	<p>学習内容：先天異常・奇形と症候群の成り立ち、分類及び病態について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先天異常の種類や代表的疾患を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奇形の定義について述べることができる。 ・奇形の成因及び病態について解説できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：F-2-4)-(3) 国家試験出題基準：必-14-A-b,-B-e，総-(VI)-1-A</p>	同上
12月21日(水) 1時間 11:00～11:50	先天異常・奇形	<p>学習内容：先天異常・奇形と症候群の成り立ち、分類及び病態について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先天異常の種類や代表的疾患を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顎顔面口腔領域に部分症を示す症候群や系統疾患の成り立ち、分類及び病態について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：F-2-4)-(3) 国家試験出題基準：必-14-A-b,-B-e，総-(VI)-1-A</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月11日(水) 1時間 9:00～9:50	歯の病変	<p>学習内容：歯の発育異常の病因・病態について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯の発生について説明できる。 ・外因について述べることができる。 ・歯の発育異常の種類を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯の発育異常の分類，成り立ち及び病態について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：F-3-2) 国家試験出題基準：必-14-B-f,g，総-(VI)-11-B,H</p>	木場秀夫
1月11日(水) 1時間 10:00～10:50	歯の病変	<p>学習内容：歯の損傷についての病因・病態について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯の発生について説明できる。 ・外因について述べることができる。 ・歯の機械的・化学的損傷による疾患や病変の種類を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯の機械的・化学的損傷による疾患や病変の分類，成り立ち及び病態について解説できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：F-3-2) 国家試験出題基準：必-14-B-f,g，総-(VI)-11-B,H</p>	同上
1月11日(水) 1時間 11:00～11:50	歯の病変	<p>学習内容：歯の発育異常，損傷及び付着物・着色の病因・病態について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯の発生について説明できる。 ・外因について述べることができる。 ・歯の付着物・着色に関する疾患や病変の種類を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯の付着物・着色に関する疾患や病変の分類，成り立ち及び病態について解説できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：F-3-2) 国家試験出題基準：必-14-B-f,g，総-(VI)-11-B,H</p>	同上
1月18日(水) 1時間 9:00～9:50	齲蝕	<p>学習内容：齲蝕の成り立ち，分類及び病態について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・齲蝕の疫学的事項について説明できる。 ・齲蝕原性細菌や歯垢形成について説明できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・齲蝕の発生機序について解説できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：F-3-2) 国家試験出題基準：必-14-B，総-(VI)-11-B</p>	同上
1月18日(水) 1時間 10:00～10:50	齲蝕	<p>学習内容：齲蝕の成り立ち，分類及び病態について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・齲蝕の疫学的事項について説明できる。 ・齲蝕原性細菌や歯垢形成について説明できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・齲蝕の分類について解説できる。 ・齲蝕の進行について病理学的に説明できる。 ・齲蝕の病理組織学的特徴について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：F-3-2) 国家試験出題基準：必-14-B，総-(VI)-11-B</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月18日(水) 1時間 11:00～11:50	象牙質とセメント質の病変	<p>学習内容：象牙質とセメント質の増生や吸収に関する病因・病態について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原生象牙質や原生セメント質の発生・形成及び組織学的特徴について説明できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二象牙質や修復象牙質の病因・病態について説明できる。 ・象牙粒とセメント粒の病理学的特徴について説明できる。 ・セメント質の増生や吸収について説明できる。 <p>学習方略(LS)： 102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：F-3-2) 国家試験出題基準：必-7-C，総-(VI)-11-B</p>	同上
1月25日(水) 1時間 9:00～9:50	歯科領域の分子病理学	<p>学習内容：歯科医療に関連する最近の分子病理学的知見について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯や骨の発生や形成にかかわる因子について説明できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯や歯周組織の再生や治療に関する分子病理学的な新知見について説明できる。 <p>学習方略(LS)： 102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：F-3-2) 国家試験出題基準：必-7-C，総-(VI)-11-B</p>	高田隆
1月25日(水) 1時間 10:00～10:50	歯科領域の分子病理学	<p>学習内容：歯科医療に関連する最近の分子病理学的知見について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯や骨の発生や形成にかかわる因子について説明できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯や歯周組織の再生や治療に関する分子病理学的な新知見について説明できる。 <p>学習方略(LS)： 102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：F-3-2) 国家試験出題基準：必-7-C，総-(VI)-11-B</p>	同上
1月25日(水) 1時間 11:00～11:50	総括及びまとめの試験	<p>内容：知識や診断能力の確認及び評価</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病因論，退行性病変，循環障害，進行性病変及び炎症を整理・理解し，理論的に説明し，鑑別診断，確定診断を実施できる。 	山本浩嗣